

シリーズ「みやぎ創生最前線」は、2016年度内に5回、原則として毎月第1日曜日に掲載する予定です。宮城県の協力で、河北新報社企画事業部が企画・制作しています。

みやぎ創生 最前线

ルポ③

保育所の待機児童は、国を挙げて解消を目指す中、富山県では2006年度に821人、16年度は638人と、10年間で約2割の減少にとどまっている。

県内の保育所の受け入れ人数は施設の整備に伴い、

実現に向けて動きだしている宮城県の地方創生総合戦略の現場を歩く第3回は、子育てを巡る仕事と家庭の両立をテーマにしたルポをお届けしよう。東日本大震災からの創造的な復興と富山県を掲げる取り組みの中でも、女性の活躍はどうしても欠かせない。女性が結婚、出産、子育てを経ながらも職場の中で生き生きと能力を発揮し、働き続けられる環境をつくることが社会の活力につながる。待機児童の解消に向け、職場内に自社で働く女性のための保育所を開設した企業と、保育士確保の側面から奮闘する団体を訪ねた。

子育てと仕事の両立

職場に自前の保育所

待機児童解消へ人材探し



ビックママランド東八番丁園（仙台市若林区）が同年10月に開園した。子どもを預ける社員から「自分が通う職場の運営なので、信頼し、安心して預けられる。職場の理解が高まる中、仕事と子育てを両立できる社会環境の整備が求められている。



企業内に設置された保育所で遊ぶ従業員の子どもたち。休憩時間に親の従業員が訪れ、元気な顔に癒やされている=仙台市若林区のビックママランド東八番丁園

村井知事

ひとこと

さまでまな助成で後押し

仕事と家庭の両立には、周囲の支援と理解がとても大切です。県は、保育所整備の促進や保育士確保、イクメン・イクボスの推進などをワーク・ライフバランスの普及を進めてまいりました。今後

宮城県震災復興政策課

斎藤 若菜主事

同行を終えて

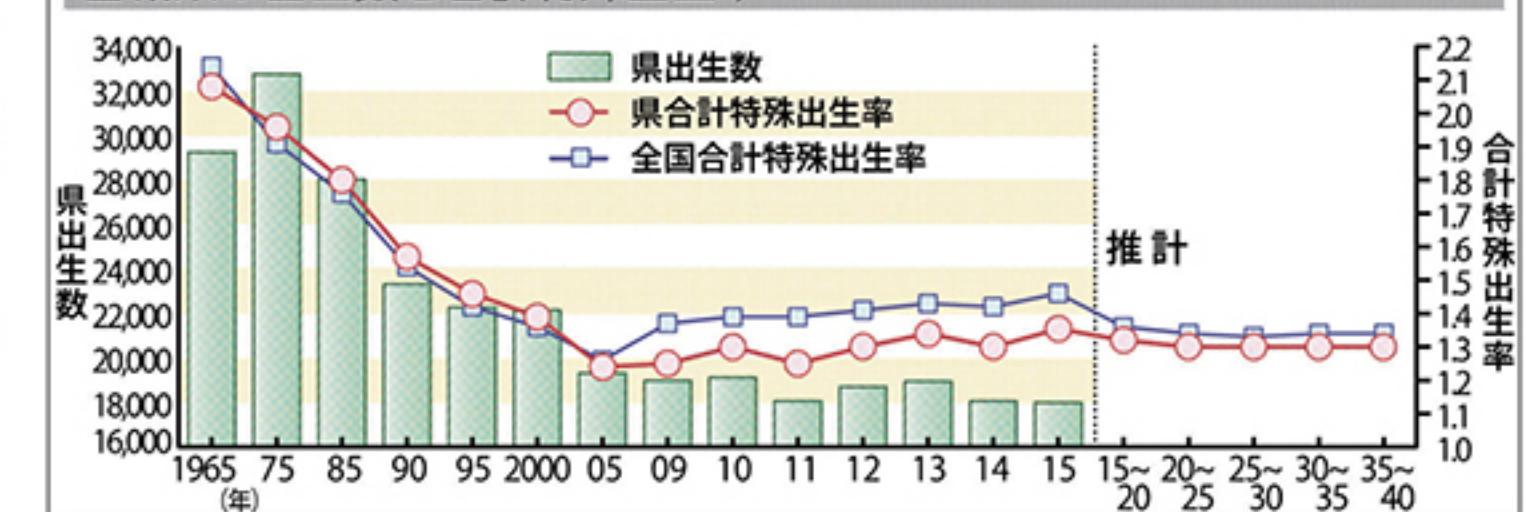
心強い民間企業の支援

仕事と子育ての両立は、自分が想像していたよりもずっと難しいものなのかも知れない。しかし、どれだけ施設や制度を充実させようと、それが利用できないのであれば意味がない。一人一人がお互いさまという気持ちを持ち、仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めることは非常に力強いことだと感じた。

「ビックママランド東八番丁園」（仙台市若林区）が同年10月に開園した。子どもを預ける社員から「自分が通う職場の運営なので、信頼し、安心して預けられる。職場の理解が高まる中、仕事と子育てを両立できる社会環境の整備が求められている。

企業内に設置された保育所で遊ぶ従業員の子どもたち。休憩時間に親の従業員が訪れ、元気な顔に癒やされている=仙台市若林区のビックママランド東八番丁園

宮城県の出生数と合計特殊出生率



城県は補助事業による保育所の整備や保育人材の確保を進めている。県が宮城県保育協議会に委託して実施している保育士人材バンク事業は、働きたい保育士や保健師、看護師、栄養士と一緒に保育所と結び付ける取り組みだ。さらに、同協議会の保育士・保育所支援センターは、保育士の資格取得相談会や研修などによる環境の充実も目指す。



保育の仕事に興味がある求職者を対象に、保育士人材バンクの仕組みや幅広い求人情報を紹介する相談会

宮城県の1年間の出生数が一生の間に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は1970年代半ばの第2次ベビーブームの3万人超を頂点に減少傾向にあり、2015年には1万799人となつた。1人の女性が仕事と子育てを両立する状況が続いている。15年9人となつた。

宮城は1・36にとどま

てもらえるようになった

と背景と利点を説明する

女性が多い職場であり、

企業による共同設置・共同

利用も、この制度では可能

になる。守井社長は「他の企業との連携も視野に入れ

いる。IT教育や英語教育など、教育面においても

保育所の拡充は、働く女性が仕事と子育てを両立するため重要な役割を果たす。

保育所設置への支援はも

ちろん、新たな保育士の養成も県が取り組む施策の柱となつていて。同時に保

育所で働く人材の資質向上

を通じた人材確保も進めて

いる。

全国平均下回る出生率

県は地方創生総合戦略の

基本目標の一つに「若い世

代の結婚・出産・子育ての

希望をかなえるを掲げる。

育所での雇用の問題を解決する

上、待遇や職場環境の改善

が仕事と子育てを両立する

ために重要な役割を果たす。

保育所設置への支援はも

ちろん、新たな保育士の養成も県が取り組む施策の柱となつていて。同時に保

育所で働く人材の資質向上

を通じた人材確保も進めて

いる。

シリーズ「みやぎ創生最前線」は、2016年度内に5回、原則として毎月第1日曜日に掲載する予定です。宮城県の協力で、河北新報社企画事業部が企画・制作しています。



村井知事

ひとこと

さまでまな助成で後押し

仕事と家庭の両立には、周囲の支援と理解がとても大切です。県は、保育所整備の促進や保育士確保、イクメン・イクボスの推進などをワーク・ライフバランスの普及を進めてまいりました。今後

宮城県震災復興政策課

斎藤 若菜主事

同行を終えて

心強い民間企業の支援

仕事と子育ての両立は、自分が想像していたよりもずっと難しいものなのかも知れない。しかし、どれだけ施設や制度を充実させようと、それが利用できないのであれば意味がない。一人一人がお互いさまという気持ちを持ち、仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めることは非常に力強いことだと感じた。

「ビックママランド東八番丁園」（仙台市若林区）が同年10月に開園した。子どもを預ける社員から「自分が通う職場の運営なので、信頼し、安心して預けられる。職場の理解が高まる中、仕事と子育てを両立できる社会環境の整備が求められている。

企業内に設置された保育所で遊ぶ従業員の子どもたち。休憩時間に親の従業員が訪れ、元気な顔に癒やされている=仙台市若林区のビックママランド東八番丁園

教育プラン

お子さまの教育資金をバックアップ!

【教育プラン概要】

◆ご融資金額／10万円以上500万円以内（医大生口の場合：10万円以上3,000万円以内）

◆ご融資期間（注）／6ヶ月以上10年以内（医大生口の場合：6ヶ月以上20年以内）

注：当行所定の期間、元金のご返済を据置くこともできます。

◆ご融資条件／お取扱店における給与支給額を除く）をご利用の方は、店頭表示金利より年0.7%の金利優遇をいたします。

◆医学部・歯学部・薬学部に入学・在学の場合、教育プラン（医大生口）がおトク！

ご融資時点において当行への給与搬入指定または当行の住宅ローン（住宅金融支援機構商品を除く）をご利用の方は、店頭表示金利より年0.7%の金利優遇をいたします。

◆店頭表示金利／お取扱店による金利を示すものです。

◆店頭表示金利／お取扱店による金利を示すものです。